

予防通所介護 1

(介護予防通所介護計画の作成・ケアプランに沿った介護予防通所介護計画の作成)

- 介護予防通所介護の提供によって解決すべき問題状況を明らかにすること。
- 利用者の日常生活全般の状況及び希望を踏まえて、指定介護予防通所介護の目標、目標を達成するための具体的なサービスの内容、サービスの提供を行う期間等を記載した介護予防通所介護計画を作成すること。
- 介護予防サービス計画に沿った介護予防通所介護計画を作成すること。

【指摘事例】

- アセスメントを（十分に）行っていない事例等
- 介護予防通所介護計画書を作成していない事例
- 所要時間、日程及びサービスの提供を行う期間等必要な事項が記載されていない事例
- 介護予防サービス計画の内容と異なる介護予防通所介護計画になっている事例

条例第 1 1 2 号	施行要領
<p>(指定介護予防通所介護の具体的取扱方針)</p> <p>第 1 0 9 条</p> <p>一 主治の医師又は歯科医師からの情報の伝達、サービス担当者会議を通じること等の方法により、利用者の心身の状況、置かれている環境等日常生活全般の状況を把握すること。</p> <p>二 <u>管理者は、前号に規定する日常生活全般の状況及び利用者の希望を踏まえて、指定介護予防通所介護の目標、当該目標を達成するための指定介護予防通所介護の具体的な内容、提供を行う期間等を記載した介護予防通所介護計画(以下この条において「介護予防通所介護計画」という。)を作成すること。この場合において、既に介護予防サービス計画が作成されているときは、当該介護予防サービス計画の内容に沿って作成すること。</u></p>	<p>6 の (2) 指定介護予防通所介護の具体的取扱方針</p> <p>① 予防条例第 1 0 9 条第 1 項第一号及び第二号は、管理者は、介護予防通所介護計画を作成しなければならないこととしたものである。介護予防通所介護計画の作成に当たっては、主治医又は主治の歯科医師からの情報伝達やサービス担当者会議を通じること等の適切な方法により、<u>利用者の状況を把握・分析し、介護予防通所介護の提供によって解決すべき問題状況を明らかにし（アセスメント）、これに基づき、支援の方向性や目標を明確にし、提供するサービスの具体的な内容、所要時間、日程等を明らかにするものとする。</u>なお、介護予防通所介護計画の様式については、事業所ごとに定めるもので差し支えない。</p> <p>② <u>介護予防通所介護計画は、介護予防サービス計画に沿って作成されなければならないこととされ、介護予防通所介護計画の作成後に介護予防サービス計画が作成された場合は、当該介護予防通所介護計画が介護予防サービス計画に沿ったものであるか確認し、必要に応じて変更するものとする。</u></p>

予防通所介護 2(介護予防通所介護計画の説明及び同意及び交付・実施状況や評価の説明)

- 介護予防通所介護計画の作成に当たり、利用者又はその家族に説明し、利用者の同意を得ること。
- 利用者又はその家族に対し、介護予防通所介護計画の実施状況や評価について、説明を行うこと。

【指摘事例】

- 説明を行ったことが確認できない事例等
- 説明をしているが、利用者の同意を得ていない事例
- 実施状況や評価について、説明を行っていない事例

条例第 1 1 2 号	施行要領
<p>(指定介護予防通所介護の具体的取扱方針)</p> <p>第 1 0 9 条</p> <p>三 <u>管理者は、介護予防通所介護計画の作成に当たっては、当該介護予防通所介護計画の内容について利用者又はその家族に対して説明し、当該利用者の同意を得ること。</u></p> <p>四 <u>管理者は、介護予防通所介護計画を作成した際には、当該介護予防通所介護計画を利用者に交付すること。</u></p> <p>五 <u>介護予防通所介護計画に基づき、利用者が日常生活を営むのに必要な支援を行うとともに、利用者又はその家族に対し、指定介護予防通所介護の提供方法等について説明を行うこと。</u></p>	<p>6 の (2) 指定介護予防通所介護の具体的取扱方針</p> <p>③ 同条同項第三号から第五号までは、サービス提供に当たっての利用者又はその家族に対する説明について定めたものである。即ち、<u>介護予防通所介護計画は、利用者の日常生活全般の状況及び希望を踏まえて作成されなければならないものであり、その内容について説明を行った上で利用者の同意を得ることを義務づけることにより、サービス内容等への利用者の意向の反映の機会を保障しようとするものである。管理者は、介護予防通所介護計画の目標や内容等について、利用者又はその家族に、理解しやすい方法で説明を行うとともに、その実施状況や評価についても説明を行うものとする。</u></p> <p>また、<u>介護予防通所介護計画を作成した際には、遅滞なく利用者に交付しなければならない</u>、当該介護予防通所介護計画は、予防条例第 106 条第 2 項の規定に基づき、2 年間保存しなければならないこととしている。</p>

予防通所介護 3（月1報告・モニタリング・モニタリングの結果の記録）

- 管理者は、少なくとも一月に一回、利用者の状態、提供状況等について、介護予防支援事業者に報告するとともに、サービスの提供を行う期間が終了する時までに、少なくとも一回、実施状況の把握(モニタリング)を行うこと。
- 管理者は、モニタリングの結果の記録を行い、介護予防支援事業者に報告すること。

【指摘事例】

- 少なくとも月1回、計画に係る利用者の状態等について、介護予防支援事業者に報告していない事例
- モニタリングを実施していない事例
- モニタリングの結果を記録していない事例
- 指定介護予防支援事業者にモニタリング結果を報告していない事例等

条例第112号	施行要領
<p>(指定介護予防通所介護の具体的取扱方針)</p> <p>第109条</p> <p>七 管理者は、介護予防通所介護計画に基づく指定介護予防通所介護の提供を開始した時から、<u>少なくとも一月に一回、当該介護予防通所介護計画に係る利用者の状態、指定介護予防通所介護の提供状況等について、介護予防サービス計画を作成した介護予防支援事業者に報告するとともに、当該介護予防通所介護計画に記載した指定介護予防通所介護の提供を行う期間が終了する時までに、少なくとも一回、当該介護予防通所介護計画の実施状況の把握(次号及び第九号において「モニタリング」という。)を行うこと。</u></p> <p>八 管理者は、<u>モニタリングの結果の記録を行い、当該記録を当該指定介護予防通所介護の提供に係る介護予防サービス計画を作成した介護予防支援事業者に報告すること。</u></p> <p>九 管理者は、<u>モニタリングの結果を踏まえ、必要に応じて介護予防通所介護計画の変更を行うこと。</u></p>	<p>6の(2) 指定介護予防通所介護の具体的取扱方針</p> <p>⑤ 同条同項第七号から第九号までは、事業者に対して介護予防サービスの提供状況等について介護予防支援事業者に対する報告の義務づけを行うとともに、<u>介護予防通所介護計画に定める計画期間終了後の当該計画の実施状況の把握(モニタリング)を義務づけるものである。介護予防支援事業者に対する実施状況等の報告については、サービスが介護予防サービス計画に即して適切に提供されているかどうか、また、当該計画策定時から利用者の状態等が大きく異なることとなっていないか等を確認するために行うものであり、毎月行うこととしている。</u></p> <p>また、併せて、事業者は介護予防通所介護計画に定める計画期間が終了するまでに一回はモニタリングを行い、<u>利用者の介護予防通所介護計画に定める目標の達成状況の把握等を行うこととしており、当該モニタリングの結果により、解決すべき課題の変化が認められる場合等については、担当する介護予防支援事業者等とも相談の上、必要に応じて当該介護予防通所介護計画の変更を行うこととしたものである。</u></p> <p>⑥ 介護予防サービス計画に基づきサービスを提供している指定介護予防通所介護事業者については、第四の三の1の(2)の⑥を準用する。この場合において、「介護予防訪問介護計画」とあるのは「介護予防通所介護計画」と読み替える。</p>

予防通所介護 4(運動器機能向上加算)

運動器機能向上加算の算定が不適正なので、是正すること。

【指摘事例】

- 運動器機能向上計画を作成していない事例
- リスク・ニーズ・運動器の機能の状況を利用開始時に把握していない事例
- 概ね1か月毎にモニタリングを行っていない事例
- 利用者の運動器の機能を定期的に記録していない事例

告示第127号	留意事項
<p>別表6</p> <p>ハ 運動器機能向上加算</p> <p>225単位</p> <p>注 次に掲げるいずれの基準にも適合しているものとして都道府県知事に届け出て、利用者の運動器の機能向上を目的として個別的に実施される機能訓練であって、利用者の心身の状態の維持又は向上に資すると認められるもの（以下「運動器機能向上サービス」という。）を行った場合は1月につき所定単位数を加算する。</p> <p>イ 専ら機能訓練指導員の職務に従事する理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、看護職員、柔道整復師又はあん摩マッサージ指圧師（以下この注において「理学療法士等」という。）を1名以上配置していること。</p> <p>ロ 利用者の運動器の機能を利用開始時に把握し、理学療法士等、介護職員、生活相談員その他の職種の者が共同して、運動器機能向上計画を作成していること。</p> <p>ハ 利用者ごとの運動器機能向上計画に従い理学療法士等、介護職員その他の職種の者が運動器機能向上サービスを行っているとともに、利用者の</p>	<p>7 介護予防通所介護費・介護予防通所リハビリテーション費</p> <p>（2）運動器機能向上加算の取扱いについて</p> <p>① 介護予防通所介護・介護予防通所リハビリテーションにおいて運動器機能向上サービスを提供する目的は、当該サービスを通じて要支援者ができる限り要介護状態にならず自立した日常生活を営むことができるよう支援することが目的であることに留意しつつ行うこと。</p> <p>② 理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、看護職員、柔道整復師又はあん摩マッサージ指圧師（以下「理学療法士等」という）を1名以上配置して行うものであること。</p> <p>③ 運動器機能向上サービスについては、以下のアからキまでに掲げるとおり、実施すること。</p> <p>ア 利用者ごとに看護職員等の医療従事者による運動器機能向上サービスの実施に当たってのリスク評価、体力測定等を実施し、サービスの提供に際して考慮すべきリスク、利用者のニーズ及び運動器の機能の状況を、利用開始時に把握すること。</p> <p>イ 理学療法士等が、暫定的に、利用者ごとのニーズを実現するためのおおむね3月程度で達成可能な目標（以下「長期目標」という）及び長期目標を達成するためのおおむね1月程度で達成可能な目標（以下「短期目標」という。）を設定すること。長期目標及び短期目標については、介護予防支援事業者において作成された当該利用者に係る介護予防サービス計画と整合が図れたものとする。</p> <p>ウ 利用者に係る長期目標及び短期目標を踏まえ、理学療法士等、看護職員、介護職員、生活相談員その他の職種の者が共同して、当該利用者ごとに、実施する運動の種類、実施期間、実施頻度、1回当たりの実施時間、実施形態等を記載した運動器機能向上計画を作成すること。その際、実施期間については、運動の種類によって異なるものの、おおむね3月間程度とすること。また、作成した運動器機能向上計画については、運動器機能向上サービスの提供による効果、リスク、緊急時の対応等と併せて、当該運動器機能向上計画の対象となる利用者に分かりやすい形で説明し、その同意を得ること。なお、介護予防通所介護（中略）においては、運動器機能向上計画に相当する内容を介護予防通所介護計画の中（中略）にそれぞれ記載する場合は、その記載をもって運動器機能向上計画の作成に代えることができるものと</p>

<p>運動器の機能を定期的に記録していること。</p> <p>ニ 利用者ごとの運動器機能向上計画の進捗状況を定期的に評価していること。</p> <p>ホ 別に厚生労働大臣の定める基準に適合している指定介護予防通所介護事業所であること。</p>	<p>すること。</p> <p>エ 運動器機能向上計画に基づき、利用者ごとに運動器機能向上サービスを提供すること。その際、提供する運動器機能向上サービスについては、国内外の文献等において介護予防の観点からの有効性が確認されている等の適切なものとする。また、運動器機能向上計画に実施上の問題点（運動の種類の変更の必要性、実施頻度の変更の必要性等）があれば直ちに当該計画を修正すること。</p> <p>オ 利用者の短期目標に応じて、おおむね1月間ごとに、利用者の当該短期目標の達成度と客観的な運動器の機能の状況についてモニタリングを行うとともに、必要に応じて、運動器機能向上計画の修正を行うこと。</p> <p>カ 運動器機能向上計画に定める実施期間終了後に、利用者ごとに、長期目標の達成度及び運動器の機能の状況について、事後アセスメントを実施し、その結果を当該利用者に係る介護予防支援事業者に報告すること。介護予防支援事業者による当該報告も踏まえた介護予防ケアマネジメントの結果、運動器機能向上サービスの継続が必要であるとの判断がなされる場合については、前記アからカまでの流れにより、継続的に運動器機能向上サービスを提供する。</p> <p>キ 旧指定介護予防サービス基準第107条において準用する第19条又は指定介護予防サービス基準第123条において準用する第49条の13において規定するそれぞれのサービスの提供の記録において利用者ごとの運動器機能向上計画に従い、介護予防通所介護においては理学療法士等、経験のある介護職員その他の職種の者が、介護予防通所リハビリテーションにおいては医師又は医師の指示を受けた理学療法士等若しくは看護職員が利用者の運動器の機能を定期的に記録する場合は、当該記録とは別に運動器機能向上加算の算定のために利用者の運動器の機能を定期的に記録する必要はないものとする。</p>
---	--